

大切な水

山添村立山添中学校三年

川畑 美央

最近、水問題に関して増えていると感じている。テレビや新聞の記事などでは、何度か「ダムの貯水量」に関することを目にしては、前までは地面、ダム開発で水没した村まで見えるようになってしまっている。前々では、そこまで水に関して気にしてはいなかった。水があることは、私の日常にとっては「当たり前」だと思っていたからだ。

テレビや記事に放送されているのは、自分の地域ではないから、私には関係のないことだと心のどこかで思っていたのかもしれない。だが、そうではなかった。普段通りの日常生活をしていたある日の会話で「最近、私たちの村のダムの水もすごく減ってるよ」と言っていた。私は初耳だった。私の村のダムの水も減っているのか、と。その会話が頭から離れないまま、何日か過ぎて家にあるラジオの放送で「村全体

で節水を心がけてください」と節水の呼びかけをしていた。一日に二、三回ほど放送されていて、「そこまで深刻な状況なのか」と思い、母と頼んだ。母は了承してくれて、実際に自分の目で確かめに行くことにした。着くまでは、大して減っていないだろう、と軽い気持ちでダムに行ったが、ダムの水を見た瞬間、私は目を見開いた。驚くほどに減っていたのだ。母も「ここまで減ってるダムを見るのは初めて」と言うほどだった。今まではダムの外から釣りができていたものの、今ではダムの内に入らないと釣りが困難なものになっていた。ここまで減ってしまったていることに正直信じられない。これほどまで深刻だと思ってもいなかった。ダムを見たときに「今後、私たちの未来でまともに水を手に入れることができるのか」という不安が何度も過った。今はまだ大丈夫かもしれないが、未来がどうかはわからない。地球温暖化が深刻化して、雨の降る日、量が減り、より水が減つ

てしまう。そうなれば、どうやって私たちは生きていけるのか、と思った。私は、考えているだけでは何も変わらないと思い、すぐに自分ができる行動に移った。

ダムを見て帰ってきてから、まずはダムの現状を家庭内で共有し、「できる限り節水を心がけた方がいい」と伝えて情報を広めた。他に自分ができることはないかと考えてから、家にあるたらいを探した。洗顔する時には、たらいに水を溜めて使うことにした。前までは蛇口を捻って洗顔が終わるまで水を流しっぱにして使える水が無駄にしてしまっていた。だが今回は、洗顔に必要な分の水を使うようにすることによって、無駄にする水を減らすことができた。慣れるまでは、何度も「面倒だな」と思ったが、続けるにつれて習慣付いて苦ではなくなった。もう一つ節水として取り行ったのは、家で氷を作ることをやめたこと。氷を入れて冷たくなつた飲み物を飲むことは美味しいものだが、氷を入れなくても冷たい飲み物を飲みたければ、事

前に冷蔵庫で冷やして飲めばいいと考えたからだ。そう考えると無駄に水を使わずに済むと思います、氷を作らなくなった。

こう考えてみると色々と節水の方法は、私たちの生活の中で多く存在しているのだな、と思った。同時に、ここまで気にかけないと危ないほどに、水問題が深刻化していると感じた。正直、今の状態を見て未来の水を考えることは怖い。だが、これ以上に水の深刻さを進めるわけにはならないので、私はこれから節水を心がけて対策しようと思う。